

【手話とは】

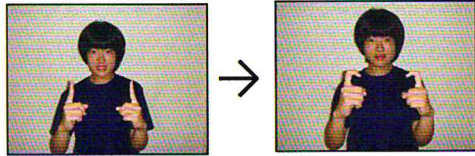
手話は、音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系を持つ言語です。ろう者にとって、手話は大切なアイデンティティーであり、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報の獲得とコミュニケーションの手段として重要な役割を担っています。

【ろう者とは】

聴覚障がいがある人たちのうち、コミュニケーションの主たる手段として手話を使い、日常生活をおくる人たちのことをいいます。

日常で使う簡単な手話の例

あいさつ



両手の人差し指を伸ばし向かい合わせます。

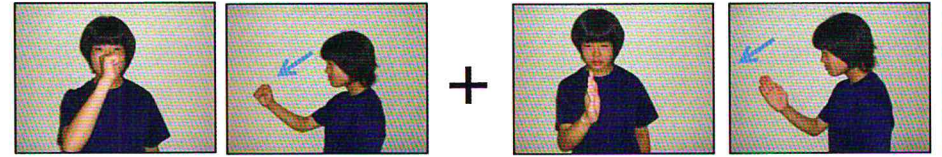
伸ばした人差し指を曲げながら自身も軽く会釈しましょう。

世界共通の手話



アイラブユー

よろしくお願いします (良い+お願い)

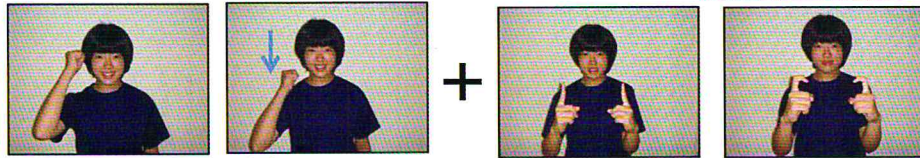


鼻の前で、にぎったこぶしを前に出す。

顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。

おはようございます (朝+あいさつ)

枕を下ろすイメージで

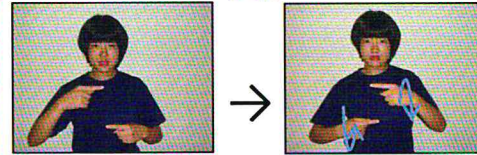


右手を「ゲー」の形にし「ゲー」の手をこめかみでこめかみにつけます。

「ゲー」の手をこめかみからほぼまで下げます。

人と人が向き合っておじぎをしている動作。

手話

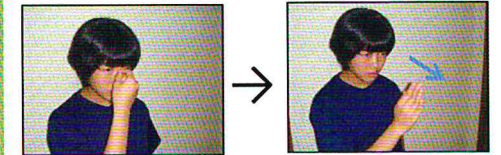


両手の人差し指をのばし、体の前で上下に位置させます。

両手を体の前で、2~3回回転させます。

※人差し指の位置は左右どちらが上でも構いません。

ごめんなさい



右手の親指と人差し指の指先を眉間にあて、他の指は曲げます。

顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。

こんにちは (昼+あいさつ)

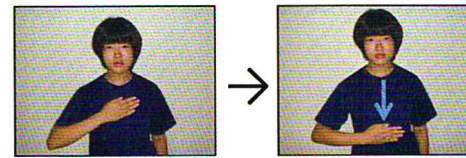
時計の針が正午を示すイメージで



人差し指と中指だけを伸ばし、額につけます。

人と人が向き合っておじぎをしている動作。

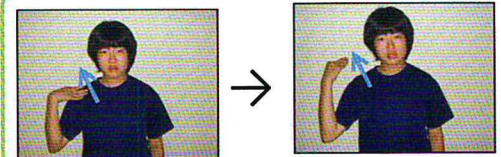
わかりました



右手の手のひらを胸に当てます。

右手の手のひらで胸をなで下ろします。

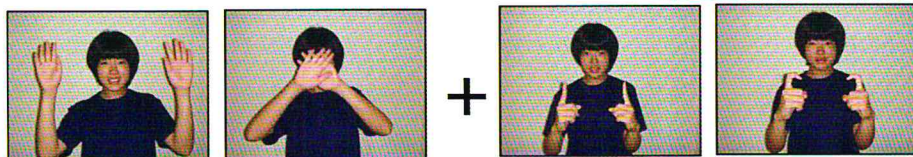
わかりません



右手の手のひらを上にして肩(右胸脇)のあたりを払いあげます。「わかりません」という気持ちをこめた表情も加えます。

こんばんは (夜+あいさつ)

あたりが暗くなるイメージで

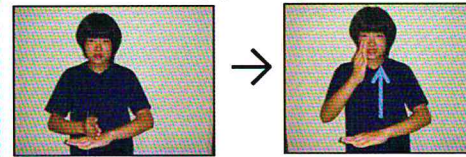


両方の手のひらを相手の手の方に向けます。

顔の前で手のひらを交差させます。

人と人が向き合っておじぎをしている動作。

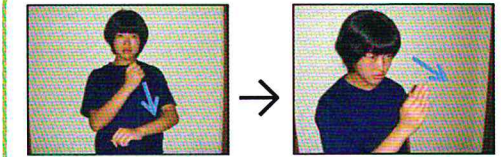
ありがとう



左手の甲を上にして、右手を垂直に左手の上のせます。

左手は動かさないで、右手を上げながら会釈しましょう。

おつかれさま



右手拳の小指側で左腕を2回たたきます。

顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。


指文字(相手指文字編)

あ アルファベットの[a]	い アルファベットの[i]	う アルファベットの[u]	え アルファベットの[e]	お アルファベットの[o]
か アルファベットの[k]	き きつねの「き」	く 手話の数詞の「九」	け アルファベットの「B」	こ カタカナの「コ」の一部
さ アルファベットの[s]	し 手話の数詞の「七」	す カタカナの「ス」	せ 「兄(せ)」の敬称「背の君」	そ 「それ」の「そ」
た アルファベットの[t]	ち カタカナの「チ」	つ カタカナの「ツ」	て 手そのものを表す	と 「あなたと私」の「と」
な アルファベットの[n]	に カタカナの「ニ」	ぬ 「ぬすむ」の「ぬ」	ね 木の根の「ね」	の カタカナの「ノ」

指文字(自分指文字編)

あ アルファベットの[a]	い アルファベットの[i]	う アルファベットの[u]	え アルファベットの[e]	お アルファベットの[o]
か アルファベットの[k]	き きつねの「き」	く 手話の数詞の「九」	け アルファベットの「B」	こ カタカナの「コ」の一部
さ アルファベットの[s]	し 手話の数詞の「七」	す カタカナの「ス」	せ 「兄(せ)」の敬称「背の君」	そ 「それ」の「そ」
た アルファベットの[t]	ち カタカナの「チ」	つ カタカナの「ツ」	て 手そのものを表す	と 「あなたと私」の「と」
な アルファベットの[n]	に カタカナの「ニ」	ぬ 「ぬすむ」の「ぬ」	ね 木の根の「ね」	の カタカナの「ノ」

は アルファベットの[h]	ひ 手話の数詞の「1」	ふ カタカナの「フ」	へ カタカナの「ヘ」	ほ 「舟の帆」を形象する
ま アルファベットの[m]	み 手話の数詞の「三」	む 手話の数詞の「六」	め 「目」を形象する	も 手話の「同じ」を示す
や アルファベットの[Y]	ゆ 「湯気」を形象する	よ 手話の数詞の「四」		
ら アルファベットの[r]	り カタカナの「リ」	る カタカナの「ル」	れ カタカナの「レ」	ろ カタカナの「ロ」
わ アルファベットの[w]	を 後ろへ引く	ん カタカナの「ン」	ゝ 横に移動する (例「ふ」)	っ 上に移動する (例「は」)
や 後ろへ引く	ゆ 後ろへ引く	よ 後ろへ引く	っ 後ろへ引く	一 「一」を空書する

は アルファベットの[h]	ひ 手話の数詞の「1」	ふ カタカナの「フ」	へ カタカナの「ヘ」	ほ 「舟の帆」を形象する
ま アルファベットの[m]	み 手話の数詞の「三」	む 手話の数詞の「六」	め 「目」を形象する	も 手話の「同じ」を示す
や アルファベットの[Y]	ゆ 「湯気」を形象する	よ 手話の数詞の「四」		
ら アルファベットの[r]	り カタカナの「リ」	る カタカナの「ル」	れ カタカナの「レ」	ろ カタカナの「ロ」
わ アルファベットの[w]	を 手前へ引く	ん カタカナの「ン」	ゝ 横に移動する (例「ふ」)	っ 上に移動する (例「は」)
や 手前へ引く	ゆ 手前へ引く	よ 手前へ引く	っ 手前へ引く	一 「一」を空書する